

第20回田原市男女共同参画推進懇話会

日時：平成25年11月29日（金）

午後2時から

場所：田原市役所北庁舎1階大会議室

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 各委員の取組 【資料1】

(2) 第6回男女共同参画フェスティバル開催報告 【資料2】
○平成25年8月25日（日）開催

(3) 平成26年度の市の男女共同参画推進施策 【資料3】

3 意見交換

テーマ：「地域活動における男女共同参画」

講師：梅岡愛子さん（豊橋市二川校区自治会長）

【資料4-1】

【情報誌】

【資料4-2】

【会報】

4 その他

○内閣府パンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために」

○第21回懇話会：平成26年3月頃開催（予定）

配布資料

【名簿・配席表】※当日配付

【資料1】各委員の取組

【資料2】第6回男女共同参画フェスティバル開催報告

【資料3】田原市男女共同参画推進プランに基づく平成26年度事業

【資料4-1】「地域活動における男女共同参画」に関する意見交換 ※当日配付

【情報誌】男女共同参画社会を目指す情報紙「花づな vol.36」（発行／豊橋市）

【資料4-2】田原市の地域活動の概要と現状

【会報】平成25年度田原市地域コミュニティ連合会

【パンフレット】ひとりひとりが幸せな社会のために（発行／内閣府）

第20回田原市男女共同参画推進懇話会委員名簿

任期：平成25年6月12日～平成27年3月31日

【委員】

		氏名	所属団体・役職	備考
1	会長	河合 熙人	田原市地域コミュニティ連合会 理事（野田校区会長）	
2	副会長	森下 静子	女性会議ウィットWIT 代表	
3	委員	三浦 大輔	一般社団法人田原青年会議所 組織活性化副委員長	
4	委員	渡会 里美	あかばねひらがなの会 会員	
5	委員	中神 信明	愛知県厚生農業協同組織連合会あつみの郷 所長	新任
6	委員	岩瀬 貴仁	社会福祉法人田原市社会福祉協議会 主任	欠
7	委員	吉武 正康	愛知外海漁業協同組合 代表理事組合長	欠
8	委員	楨田 圭一	田原市認定農業者連絡会 会長	欠
9	委員	大久保哲夫	愛知みなみ農業協同組合 人事課長	
10	委員	榎本 明美	渥美商工会女性部	
11	委員	富田由利子	田原市商工会女性部 副部長	欠
12	委員	加藤 昌高	渥美半島観光ビューロー 事業推進本部員	欠
13	委員	大竹 正章	田原市議会 議員	欠
14	委員	齋藤 順子	田原市更生保護女性会 理事	
15	委員	鈴木 貴江	田原市農業委員会 委員	
16	委員	金原 真人	田原市教育委員会 委員	欠
17	委員	宮本 孝子	行政相談委員	
18	委員	川口 昌宏	田原市市民環境部長	
19	委員	永田みよ江	公募者	
20	委員	田中 剛	公募者	
21	委員	平野 利依	公募者	
22	委員	鈴木 京子	公募者	

【オブザーバー】

氏名	所属団体・役職	備考
武田 圭太	愛知大学文学部教授	欠

【事務局】

氏名	所属・役職	備考
鈴木 嘉弘	市民環境部市民協働課長	
松井 茂明	市民環境部市民協働課 副主幹	
柴田奈津子	市民環境部市民協働課 主事補	

第20回田原市男女共同参画推進懇話会 配席表

(敬称)

豊橋市二川校区自治会長 講師 梅岡 愛子 氏
 田原市地域コミュニティ連合会 会長 河合 熙人
 女性会議WITウィット代表 副会長 森下 静子

聴講席

田原市農業委員会
 委員 鈴木 貴江

行政相談委員
 委員 宮本 孝子

田原市市民環境部長
 委員 川口 昌宏

公募委員
 委員 永田みよ江

公募委員
 委員 田中 剛

公募委員
 委員 平野 利依

公募委員
 委員 鈴木 京子

田原青年会議所
 委員 三浦 大輔

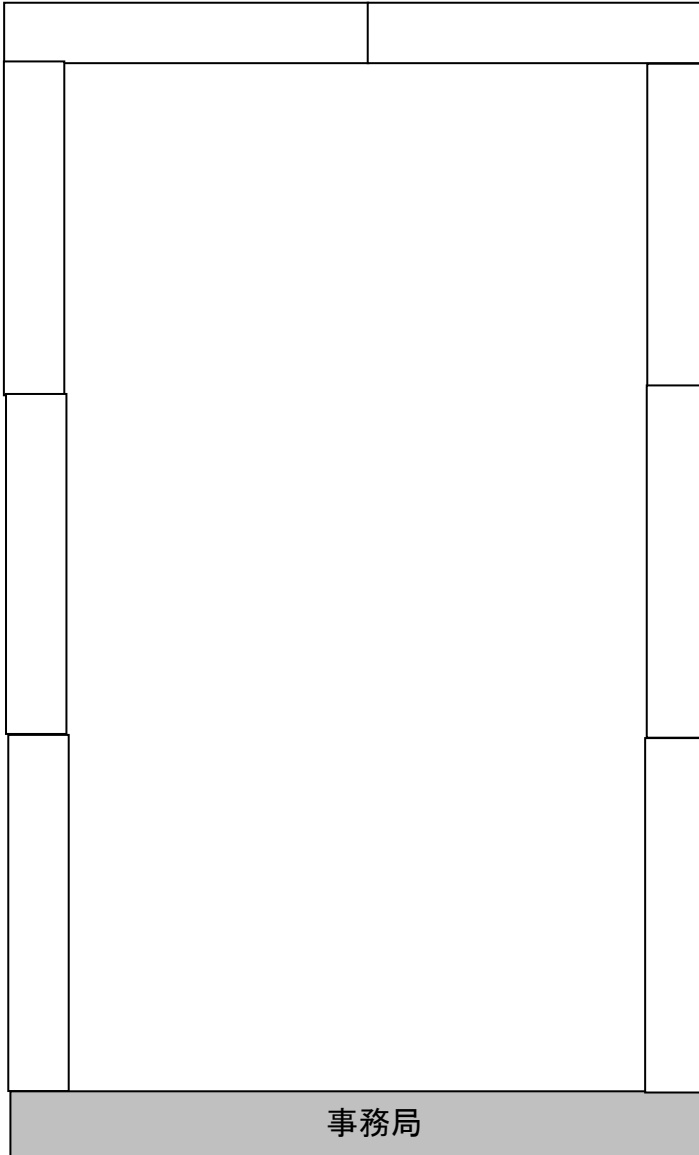
あかばねひらがなの会
 委員 渡会 里美

あつみの郷
 委員 中神 信明

愛知みなみ農業協同組合人事課
 委員 大久保 哲夫

渥美商工会女性部
 委員 榎本 明美

田原市更生保護女性会
 委員 齋藤 順子



事務局

鈴木市民協働課長

松井副主幹

柴田主事補

入り口

各委員の取り組み

氏名

女性会議ウィット WIT 代表 森下 静子

○女性会議ウィット WIT で応援してきた、北山郁子氏のドキュメンタリー映画「潮風の村から～ある女性医師の軌跡～」が完成した。一人の女性として、一人の産婦人科医として、北山先生の人生を見たとき、感じていただける何かが、伝えたい何かが、見た方々、お一人おひとりに違った形で残るものがあると確信しています。田原市民の方々はもちろん、性を問わず多くの方にこの映画を鑑賞していただき、後世に伝えていけたらと思います。

第三回 ANN 講座（9月21日、主催／あつみNPOネットワーク主催）で映画上映と、北山郁子氏・山上千恵子監督・映画評論家の高野史枝氏によるトークショーを行った。また、あいち国際女性映画祭（設楽町にて上映）でも、多くの方々に共感と感動と気づきをもたらすこととなり、大変好評であった。

○全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間（11月18日～11月24日）

差別やDV、セクハラ、夫婦間の問題など、女性の人権に関する様々な相談に対して、法務局職員と人権擁護委員とが対応した。

○日本経済新聞（2013/10/25）より「男女平等指数、日本3年連続低下の105位」

世界経済フォーラム（WEF）は世界各国の男女平等の度合いを指数化した2013年版「ジェンダー・ギャップ指数」を発表した。日本は調査対象136カ国のうち105位で前年より4つ下がった。識字率や高校までの教育水準の格差の少なさでは1位だが、女性の就労者や政治家が少ないことが全体の評価を下げている。日本は経済で104位、政治で118位、教育で91位である。

氏名	公募 田中 剛
<p>世界経済フォーラムの国際男女格差レポート 2013 版によると日本のランクはまたもや下がって、136 カ国中 105 位。相変わらず先進国で一番低い。安倍首相は最近かけ声をあげても実行は伴わないから、改善の見通しは遠いでしょう。こんな状態でも私達が悲観的にならないためにどうしたら良いだろう。私が思うことは、もはや議論は終わりにして、思いつくことはどんどん実行することしかないと思う。</p> <p>その点、懇話会が地域活動への男女共同参画をテーマとしたこと良いことです。「まず隗より始めよ」ではないが、大きな事を言う前に、田原 20 校区の地区会長や校区会長に 1 人も女性がいらないのは恥ずかしいことだと「委員全員」が本当に思うことから始めたい。そしてその実現のために何が障害になっているかです。実際に提案してみた人なら分かることですが、ここでは総論は賛成してもらえても、各論になると途端にストップするので。結局本音になると男はムラの仕切りを女性がやることに賛成しない。そんな雰囲気女性達も知っているので、わざわざ火中の栗を拾う女性はいなくなる。私は男の変化を待っていては、実現は永久に無理だと思います。やはりここは、「やってやる」と言える勇気のある女性を探し出すことが先決のように思います。まず見つけておいて、それからその女性のいる地区の男達をみんなて説得にかかる。そのために、私達委員も出かけて行って説得する。そんな女性をどこかに見つけることといい、かたくなな地元への説得といい、議論なんかしているより、その実行に汗をかきたいものです。</p>	

氏名	公募 鈴木 京子
<p>○男女共同参画の基本はお互いの尊重</p> <p>男性、女性、大人、子ども、高齢者、若者が立場の違いを越えて尊重し合えること、さらに日常生活の中で対等なところに立ち、率直に話し、聞くことを心がけることが、男女共同参画社会実現のためにできることだと考える。</p>	

第6回男女共同参画フェスティバル開催報告

1 概要

日時	平成25年8月25日（日）10:00～16:30
場所	田原文化会館 多目的ホール他
主催	田原市男女共同参画推進懇話会
目的	市民に男女共同参画の意識を啓発し、田原市男女共同参画推進プランの目標「みんなが自分らしく輝けるまち・たはら」を目指す。自分らしく活動する市民活動団体や来場者が交流し、自分らしく生きる人と人とのつながりが広がることを期待する。
内容	○市民活動団体（市内外28団体）による活動発表、パネル展示、手作り品販売、ワークショップ等 ○映画「幸福な食卓」上映、映画監督トークショー
来場者数	全体／600人程度、映画上映会／242人

2 状況写真（一部）

○ステージ発表



田原市赤十字奉仕団
（災害時に役立つ
リラクゼーション法の紹介）



田原市人権擁護委員会
（人権啓発の紙芝居）

○ブース出展



○映画上映会&トークショー



映画「幸福な食卓」上映&
映画監督トークショー
(右) 監督 小松隆志 氏
(左) 映画評論家 高野史枝 氏

3 懇話会委員反省意見

○フェスティバル全体について

開催時間、場所	<p>○妥当。(妥当という意見多数)</p> <p>○集合時間の少し前に行ったが、会館に入れなかった。</p> <p>○映画上映を午前中にし、上映前に団体紹介をすればよいのでは。</p> <p>○午後、多目的ホールやホワイエが閑散としてしまった。映画を午前中にし、午後団体出展をすればよいのでは。</p> <p>○クイズラリーよりスタンプラリーの方が総合案内の業務としては簡単かもしれない。</p> <p>○渥美文化会館、赤羽根文化ホールで開催してもよいのでは。</p> <p>○多目的ホールという奥まった部屋でなく、来場者を引き込まなくてもよいオープンな場所にすれば、より多くの人目にとまると思う。</p> <p>○ステージ発表、ブース等すべてが一か所にまとめられる場所できたらよい。</p>
ステージ発表	<p>○観客が少ない。ステージを盛り上げる人が必要。</p> <p>○音響（マイク）が悪く、聞き取りにくかった。</p> <p>○発表団体、観客双方にとって有意義なステージ発表となるような手法を来年度も考えたい。</p> <p>○男女共同参画の主旨に沿う内容が多く、今回のフェスティバルの成果があったと感じた。</p>
ブース	<p>○出展者は自分たちのブースで手いっぱいになり、他団体のブースを見たり交流したりする時間がない。</p> <p>○出展内容と開催テーマが合っていない。</p> <p>○映画上映中のブース開閉店は各団体に任せてもよいのでは。</p> <p>○人権ファンクション委員会のように、目的をもって物品を売買するブースが多くあるとよりよいと思う。</p>
その他	<p>○分科会（テーマを決めておしゃべりするような場）がもてないだろうか。</p> <p>○懇話会委員の役割に従事していたため、ブースや発表を見られなかった。担当内で交代時間の配慮が必要だった。</p> <p>○男女共同参画という言葉がうまく砕いてわかりやすくしたい。その上でフェスティバル全体像を再構築し、参加団体と関連付けたり一般来場者にアプローチしたりすると具体化できそう。</p>

○映画「幸福な食卓」上映&トークショーについて

開催時間	○妥当。(妥当という意見多数)
映画の内容	○概ね良い。 ○母が欠けた状態から、家族全員がそろった状態になることが「幸福な食卓」と捉えられそう。
トークショー	○会場からの質問もたくさん出てよかった。 ○内容がとてもよかったが、映画が終わって退場する方がいたのが残念だった。 ○映画評論家を呼ぶのもよいが、地元の映画好きな人をインタビュアーとしてもおもしろいのでは。 ○トークショーで映画の背景、制作の裏話等が理解でき、大変よかった。
その他	○当日、整理券を持っていない方に入場を待たせてしまったのが気になった。 ○来年度も映画上映をするのであれば、上映作品をもっと早めに懇話会で検討するとよいのでは。

第5回男女共同参画フェスティバル

出展者アンケート結果

○出展団体 28団体（149名）

○アンケート回収率：82.1%（23団体）

1 フェスに参加してみてどうだったか

回答	団体数
とても良かった	7
まあまあ良かった	12
ふつう	3
少し悪かった	0
とても悪かった	0
無回答	1

2 開催時間について

回答	団体数
ちょうどよい	20
短い	0
長い	3
無回答	0

3 時間帯について

回答	団体数
午前中心でよい	16
午後のみでよい	0
終日開催	5
無回答	2

意見

- 映画上映中はブースが閑散としてしまうため、ブース出展は午前中のみでいいのでは。（この意見多数）
- ブース出展は午前で終了するのがよいのではないか。午後まで残って片付けとなると、市外からの参加者にとっては難しい。
- 終了のあいさつまで残っていない団体があった。共用の机等を片付けもせずに帰ってしまう団体があった。

4 出展場所について

回答	団体数
とても良かった	13
まあまあ良かった	6
あまりよくなかった	4
よくなかった	0
無回答	0

4-1 出展場所がよくなかった理由

- 「暑かった」 3団体
- 「人が思うように集まらなかった」 6団体
- その他意見
 - ・多目的ホールが一般来場者にわかりにくい。
 - ・多目的ホール中心のブースのパネルで、ホール奥のブースが見にくかった。

5 こんなものがあればよかったと思う資材は。

- 20インチほどのモニター（常時団体の活動の様子の映像を映し、来場者が自由に見られるようにする。）
- 多目的ホールの壁面は画鋲がささりやすく、掲示物を貼るのに苦労した。

6 映画上映&トークショーはどうだったか。

回答	団体数
良かった	15
ふつう	3
よくなかった	0
無回答	5

意見

- チラシに書かれていた内容と違っていただように思う。
- 高野氏がうまく監督の人柄を引き出し、男女共同参画と結び付けていた。質問内容も良く、トークショーが生きていた。今回のトークショーがこれまでに一番よかったと思う。
- トークショーが思っていたより楽しかった。気さくな監督の話が聞けてよい機会となった。

7 次回のフェスティバルについて

回答	団体数
ぜひ開催してほしい	14
内容を工夫すべき	8
開催しないほうがよい	0
無回答	1

7-1 いつごろの開催がよいか。

- 春（4～6月頃）：2団体
- 夏（8～9月頃）：11団体
- 秋（10月頃）：2団体
- いつでも：6団体

8 他団体と交流できたか。（複数回答可）

回答	団体数
各ブースをまわっていろいろな話が聞けた。	10
話す時間はなかったが、展示は見ることができた。	9
ブースをまわる余裕はなかった。	2
自分はまわれなかったが、他団体が来てくれた。	4
他団体と交流する気はなかった。	0
その他	2

その他意見

- 子ども向けの体験ブースがあると親子で参加できてよいと思う。
- 初めて参加したが、とても良かった。
- もっとたくさんの一般来場者に見てほしかった。団体関係者ばかりで一般来場者が少なかった。（この意見多数）
- 出展者がもう少し多いとよい。
- オープニングの団体紹介で、出展団体を知ることができたのでよかった。
- 出展者に子育て中の人、男性のグループ、企業等、新しい団体があると活気が出そう。
- 男性の参加が少ない。活躍する男性にお願いして参加してもらってはどうか。
- 出展者がステージ発表を見る時間とブースを回る時間を分けてほしい。ステージ発表中、会場内がざわついていて発表しづらかった。
- 集客力のある他イベントとの抱き合わせ開催がよいのでは。
- 男女共同参画の目標、到達点を考える場が必要では。
- テーマに対してオープンに議論する場があればもっと充実すると思う。
- 毎年楽しみに出展・来場する人はいる。定着してきてとても良いことだと思う。
- 団体同士が交流し合える企画があるとよい。

第6回男女共同参画フェスティバル 来場者アンケート結果

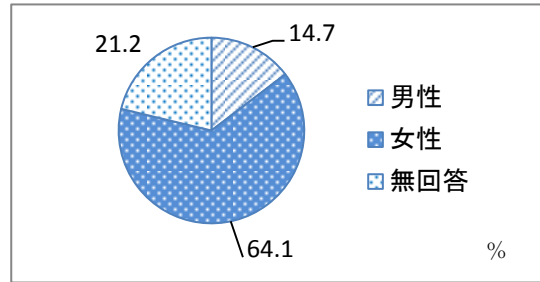
■ アンケート概要

○対象：フェスティバル来場者（約600人）

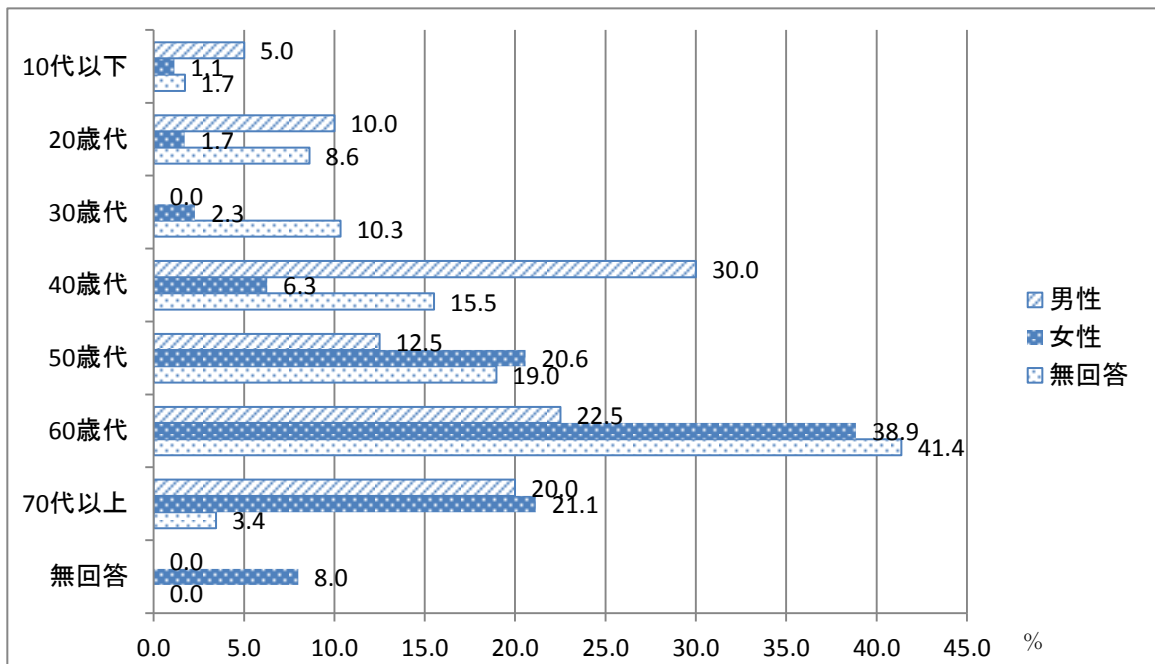
○回収数：273（回収率45.5%）

1 性別

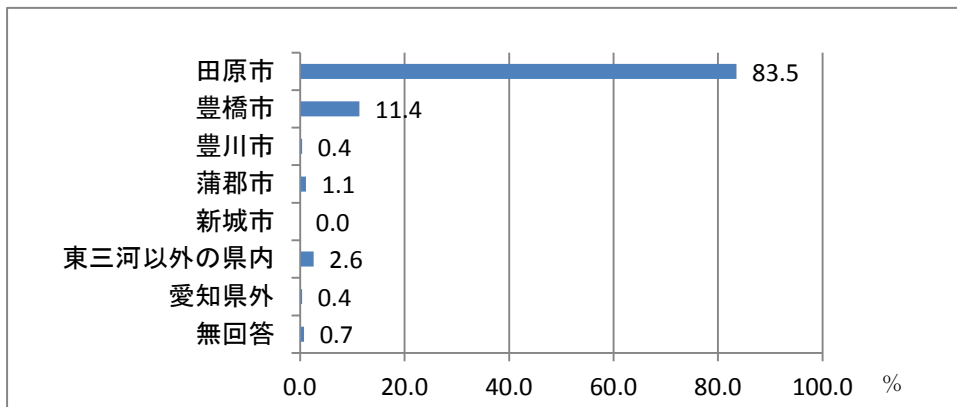
男性	40名（14.7%）
女性	175名（64.1%）
無回答	58名（21.2%）
合計	273名



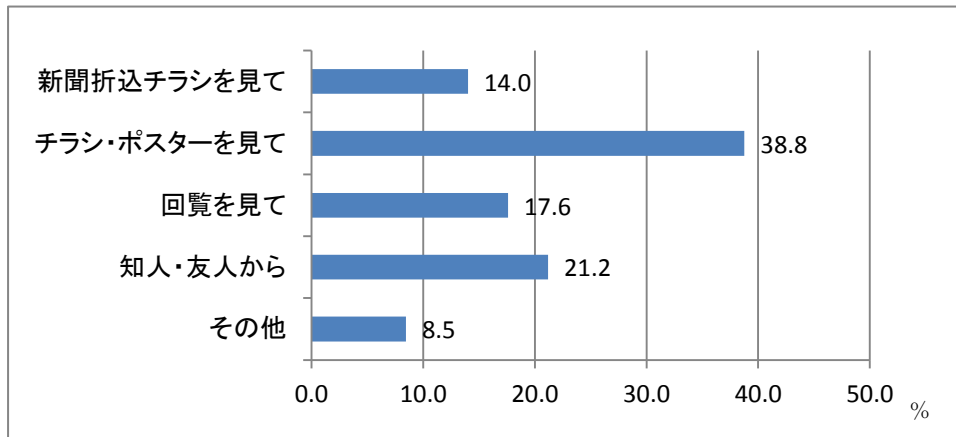
2 年代



3 どちらにお住まいですか？



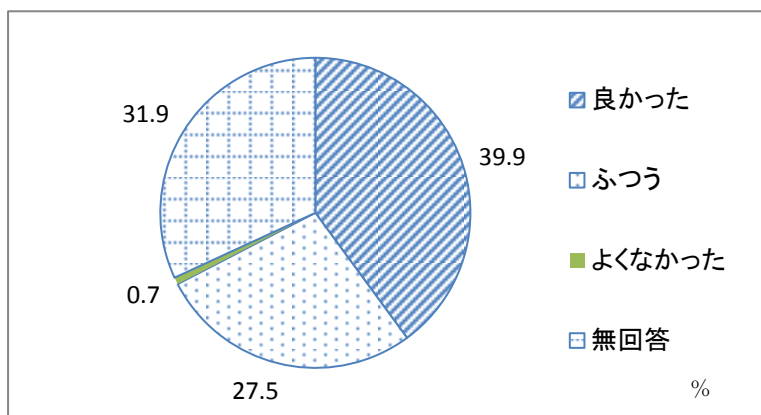
4 フェスティバルをどこで知りましたか？



「その他」の主な内容

- 文化会館へ来たら開催していたので立ち寄った。
- 東日新聞の記事を見て。
- 保育園で配布されたチラシを見て。

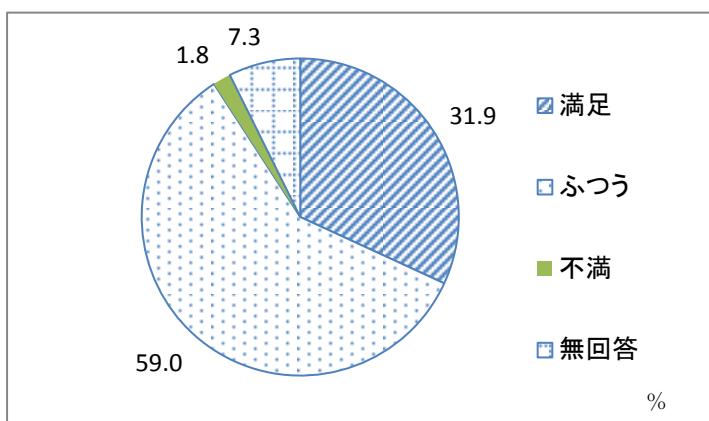
5 フェスティバル（全体）はいかがでしたか？



「不満」の主な理由

- 一般の来場者が少ない。
- 出展団体の関係者ばかり。
- 出展団体が少ない。

6 映画「幸福な食卓」上映&トークショーはいかがでしたか？



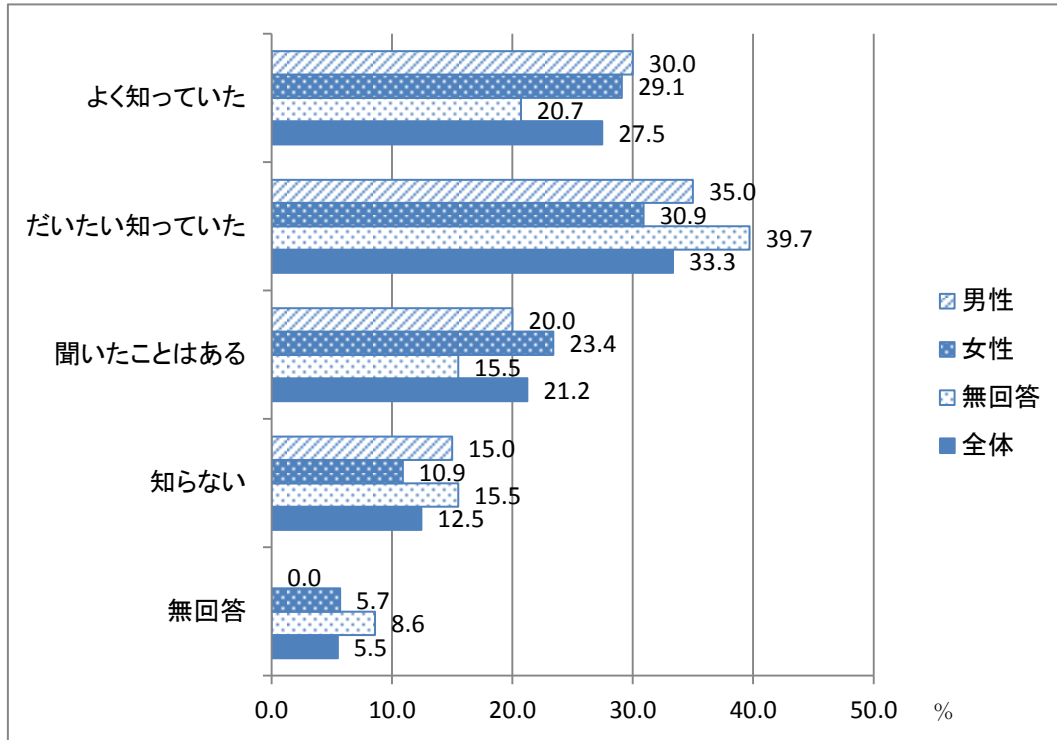
「良かった」の主な意見

- 映画に感動した。
- 監督の気さくな話、生の声が聞けてよかった。
- 小松監督、高野さんのトークが楽しかった。

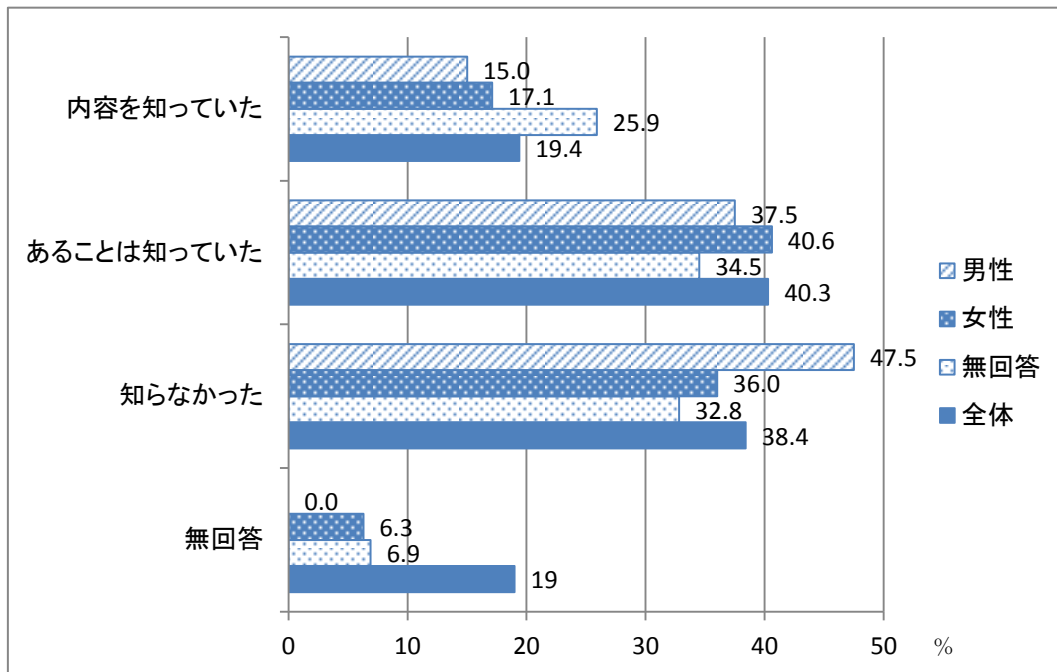
「よくなかった」の主な理由

- 映画の内容がフェスティバルのテーマと合っていない。

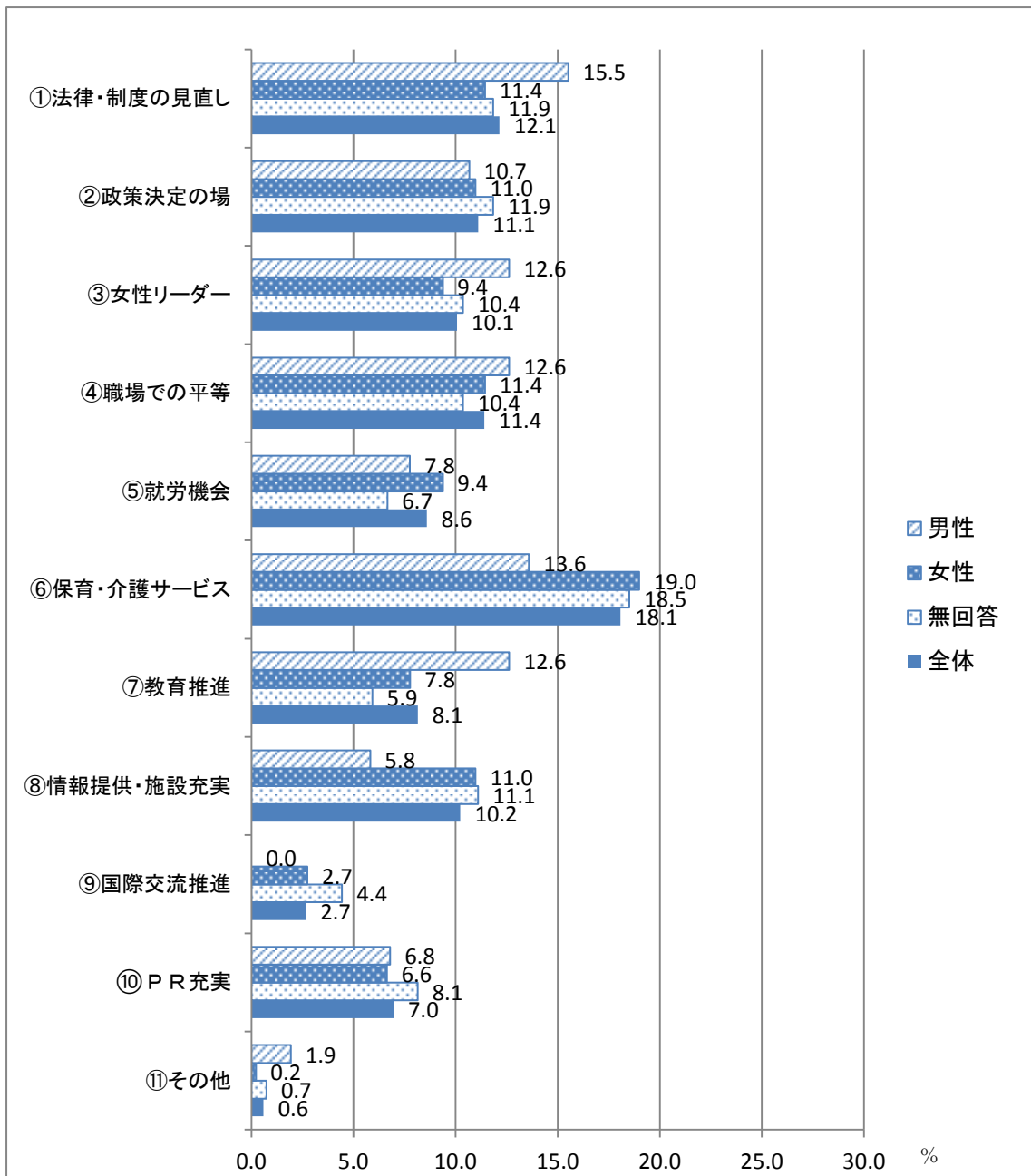
7 「男女共同参画」という言葉を知っていましたか？



8 「田原市男女共同参画推進プラン」を知っていましたか？



9 男女共同参画社会の推進のため、最も重要だと思うものは？（複数回答可）



選択肢

- ①男女平等を目指した法律・制度の制定、見直し
- ②女性の政策決定の場への積極的登用
- ③各種団体の女性リーダーの育成
- ④職場における男女の均等な取り扱いの周知徹底
- ⑤女性の就労機会、職業教育、職業訓練の充実
- ⑥保育の施設・サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスの充実
- ⑦学校教育や社会教育・生涯学習の場での男女平等教育の推進
- ⑧女性の生き方に関する情報提供や交流・相談・教育の場となる施設の充実
- ⑨各国の女性との交流・情報提供など国際交流の推進
- ⑩男女平等と相互理解や協力についてのPRの充実
- ⑪その他

その他意見（フェスティバル全体について）

- 各ブースを見ても男女共同参画の意味が感じられない。もっと男女共同参画がアピールされ、進展していったほしい。（40代男性）
- 参加団体、来場者がもっと多いとよい。（60代女性ほか多数）
- アットホームなイベントで好感がもてる。活動している人たちががんばっている。（60代女性）
- これからも続けてほしい。（40代女性ほか）
- もっと子どもが集まるようにするとよい。（50代女性ほか）
- 男女共同参画という言葉を使うと堅くなってしまふ。（50代女性／同様意見多数）
- 若い世代にもっと関心を持ってもらえるようにすべき。（50代女性）
- 毎年代わり映えのしないイベント。毎年違う内容にすれば参加団体も増えるのでは。（年代性別不明）
- 初めて参加した。たくさんの方が興味をもって参加していることを知り、うれしくなった。批判や対立があると悲しい気持ちになってしまう。楽しみながら生き生きと活動ができれば、多くの人が参加しやすく、若い人に受け継がれるイベントになると思う。男女関係なく、誰もが自分らしく生きていける、夢を描ける社会となるといいと思う。（20代性別不明）
- ステージ発表の音響がよく聞こえなかった。（50代性別不明）

その他意見（映画上映&トークショーについて）

※映画内容、トークショーともに概ね「良い」意見多数。

- トークショーが大変よかった。今後も続けてほしい。（50代男性ほか多数）
- 「幸福な食卓」が男女共同参画とどう関係するのかわからなかった。（40代女性）
- 毎年映画が楽しみ。これからも女性が楽しめる映画を上映してほしい。（50代女性）
- 映画を見て、自分の若い頃と現代の若者の生活に差を感じたが、トークショーで内容をつかむことができた。たのしい時間だった。（70代女性）
- もっと新しい映画を上映してほしい。コンサートをやってほしい。（40代性別不明）
- 小松監督と高野さんのトーク最高でした。（60代性別不明）
- 映画音声は聴き取れなかった。トークショーの音声は聞き取れた。（70代性別不明）

その他意見（男女共同参画社会全般について）

- 子育て、介護等を抱える女性が、外で働ける環境整備が必要。（40代男性）
- 男性の考え方が変わらないと男女共同参画社会の実現は無理。昔から女性が子育てや介護を全て背負ってきた。これらに男性が参加すれば解決することが多いはず。（30代女性）
- 男女共同参画という言葉自体がもう時代に合っていないと思う。（50代女性）
- フェスティバルの開催によって田原市では男女共同参画を理解する人が増えてきたと思うが、まだまだ無関心の人が多い。難しい内容なので、誰もが関心を持てるように漫画のパンフレットを作成する等工夫してみてもは？（30代女性）
- 男女共同参画という言葉が女性擁護にならないよう、事の本質をよく伝える必要がある。（40代性別不明）

田原市男女共同参画推進プランに基づく平成26年度事業

第1項 人権尊重と男女平等の意識づくり

■推進施策の成果指標

プラン頁	担当課	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業	
1	13	人事課	・男女共同参画関連講座等の開催・支援 ・偏った習慣等の問題提起 他	男女共同参画関連講座等の開催・支援 偏った習慣等の問題提起 他	【継続】 ○女性職員を女性リーダーのためのマネジメント研修へ派遣する。 ○ワークライフバランスのための時間外抑制への取組を行う。 【★新規】 ○市職員向けの男女共同参画研修会を実施する(予定)。
2	13	市民協働課	・男女共同参画関連講座等の開催・支援 ・偏った習慣等の問題提起 他	男女共同参画関連講座等の開催・支援 偏った習慣等の問題提起 他	【継続】 ○男女共同参画フェスティバルを開催し、市民への意識啓発を行う。
3	13	子育て支援課	家庭相談事業	市役所子育て支援課及び渥美福祉センターに各1名家庭相談員を配置し、子どもの養育やDVなど、家庭内の諸問題に対して相談対応を図るとともに、要保護児童及び要支援家庭の見守り、訪問活動を実施する。	【継続】
4	13	子育て支援課	児童虐待防止事業	要保護児童対策地域協議会(代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会議)の運営により、児童に関わる各機関の連携と役割分担を充実し、児童虐待等の早期発見と必要な支援、市民啓発を実施する。	【継続】
5	15	生涯学習課	青少年健全育成事業	地域づくり活動推進交付金として、校区の青少年健全育成活動を支援する。	【継続】
6	16	学校教育課	男女共同参画に関する教職員研修	教職員研修の中に、男女共同参画の視点に立った内容を盛り込む。	【継続】 ○子どもたちの健やかな成長を願う会を教職員会、PTAと共同で開催し、市民への意識啓発を図る。

第2項 誰もが参画のまちづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁	課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業	
1	21	地域福祉課	審議会、委員会等の女性の登用推進	民生・児童委員、保護司、人権擁護委員の活動を支援する。また、女性委員の割合に配慮する。	【継続】 ○民生・児童委員：男性62名、女性53名 ○保護司：男性26名、女性1名 ○人権擁護委員：男性4名、女性6名
4	21	教育総務課	審議会、委員会等の女性の登用推進	教育委員会委員の女性委員の割合に配慮する。	【継続】 ○教育委員：男性4名、女性1名
5	21	生涯学習課	審議会、委員会等の女性の登用推進	青少年問題協議会、社会教育委員の女性委員の割合に配慮する。	【★新規】 ○条例改正し、委員の市民公募予定。
6	23	市民協働課	・地域を代表する団体等の代表者・役員への女性の登用促進 ・地域づくり団体への支援	地区自治会協働助成金として、地区自治会運営を支援する。	【継続】 ○地域コミュニティ連合会の部会である地域コミュニティ活性化研究会において、女性の地域参加を促進する策を検討していく。
7	25	防災対策課	防災に関するワークショップ、研修会等の開催	防災講習会、ワークショップ等に積極的に市民の参加を促進する。	【継続】
8	27	エコエネ推進課	環境分野の会議等への女性の登用促進	各種会議等に女性の登用を促進する。	【継続】
9	27	エコエネ推進課	地域団体における環境啓発活動	NPO団体の支援、育成を行う。	【継続】
10	27	環境衛生課	・環境分野の会議等への女性の登用促進 ・地域における環境啓発活動	環境分野への女性の参加、会議への委員登用を促進する。	【継続】
11	30	広報秘書課	・国際的な男女共同参画に関する情報提供 ・姉妹・友好交流、国際協力事業 在住外国人支援事業	国際交流分野の男女共同参画を促進する。在住外国人への支援を行う。	【継続】

第3項 生涯安心の暮らしづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁	課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業
1	35	健康づくり事業	健康に対する意識を啓発するとともに、健康について見直す機会を提供する。	【継続】 ○市民に健康への関心を深めてもらうため、健康まつりを開催する。(10月)
2	35	特定健診後の保健指導	特定健診受診結果により保健指導を行う。	【継続】
3	35	健康診査及びがん検診	健康診査、人間ドック、各種がん検診、骨粗しょう症検診、歯の検診等を実施する。	【継続】
4	35	健康教育	病態別教室、運動教室、人間ドック説明会、一般健康講座等を実施する。	【継続】 ○生活習慣病予防のため、検診実施時や教室開催時に、また老人会等の集会で指導を行う。(通年)
5	35	訪問指導	健診の結果、生活習慣の改善の必要な方等に訪問指導を実施する。	【継続】
6	34	健康診査の実施	4か月児・1歳6か月児・3歳児を対象に健康診査、栄養相談、歯科健診(3歳児)を実施する。	【継続】 ○ブックスタートボランティアや心理相談員等を配置し、子育て支援型の健診を継続実施をする。
7	34	母子健康手帳交付	母子健康手帳の交付とその活用法を紹介する。	【継続】 ○母子健康手帳交付時に、母親の体調、父親等家族の育児協力や家庭環境などの把握をし、妊娠期からの保健指導や相談につなげる。
8	34	パパママスクール(育児体験コース)	パパの妊婦・育児体験等を通して男性の育児参画を促進する。	【継続】 ○沐浴実習や妊婦体験の他、DVD視聴やグループワークをとおして父親の役割や夫婦で子育てについて考える機会を提供する。
9	34	育児相談	乳幼児、妊産婦を対象とした身体計測、健康相談、栄養相談、母乳相談、離乳食相談、歯科相談を実施する。	【継続】
10	34	家庭訪問	新生児、乳幼児、妊産婦のいる家庭へ訪問し、保健指導・身体測定・相談等支援を行う。	【継続】 ○母親の孤立予防や親子の愛着の絆を育む目的で必要時関係機関と連携した支援に取り組む。
11	34	予防接種	乳幼児、児童生徒を対象に予防接種を実施する。 乳幼児:ポリオ、3種混合、MR、BCG、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌 小学生:2種混合、日本脳炎 中学生:MR、子宮頸がん 高校生:MR、子宮頸がん	【継続】
12	34	外国人ママ交流会	外国人母子の交流会を通して、地域や家庭での孤立を防ぐ。	【継続】 ○参加率が減少傾向。相談や訪問事業にて、夫や家族の理解を得ながら参加勧奨をする。

第3項 生涯安心の暮らしづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業
13	37	高齢福祉課	介護保険事業	要支援、要介護状態になる前に介護予防事業を実施し、要介護状態への移行を防止する	【継続】
14	37		介護保険事業	全高齢者を対象とする介護予防事業	
15	37		介護保険事業	地域包括支援センターの保健師等が、高齢者が要介護状態、要支援状態になることを予防するため介護予防ケアプランを作成する。	
16	37		介護保険事業	地域包括支援センターの社会福祉士により総合的な相談支援業務を行う。	
17	37		介護保険事業	地域包括支援センターの社会福祉士により困難事例への対応などの権利擁護事業を行う	
18	37		介護保険事業	地域包括支援センターのケアマネージャーが包括的・継続的ケアマネジメント事業を行う	
19	37		介護保険事業	要介護者を介護する家族に対し支援事業を行う	
20	37		介護教室	新規事業：認知症高齢者や介護予防の必要性を啓発するためボランティアの養成を図る	

第3項 生涯安心の暮らしづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業
21	37	高齢福祉課	高齢者福祉サービスの充実	環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに入所させ、心身の健康の保持及び生活の安定を図る。	【継続】
22	37		高齢者福祉サービスの充実	社会的支援が必要な高齢者に対し、家事や軽作業など日常生活上の援助をすることにより、高齢者の自立した計画の継続を可能にする。	
23	37		高齢者福祉サービスの充実	高齢者の日常生活における外出支援を目的に、福祉タクシー・バス・福祉有償運送における利用料金の助成	
24	37		高齢者福祉サービスの充実	要介護の方を介護している家族の介護負担の軽減のため介護用品券を交付する。	
25	37		高齢者福祉サービスの充実	調理が困難なひとり暮らし高齢者等を対象に、昼食を週5回届けることにより栄養改善並びに安否確認を行う。	
26	37		高齢者福祉サービスの充実	高齢者に防災器具等を給付、設置することにより火災、地震、徘徊による危険を防止する。	
27	37		高齢者福祉サービスの充実	独居(高齢者及び障害者)や高齢者世帯に緊急通報装置を取り付け、24時間体制で緊急時の対応や相談を受ける事業	
28	37		高齢者福祉サービスの充実	高齢者の使用している寝具を、乾燥消毒し、衛生管理を行う。	
29	37		高齢者福祉サービスの充実	65歳以上の高齢者が、在宅で生活をしやすいように住宅を改修する費用の補助を行う。	
30	37		高齢者福祉サービスの充実	要介護3以上の方で、理髪店、美容院に出向くことが困難な場合居宅で理髪等を受ける場合の補助券を交付	
31	37		高齢者福祉サービスの充実	シルバーハウジング入居の高齢者の生活相談及び支援を状況に応じて行う。	
32	37		高齢者福祉サービスの充実	高齢により居宅において生活することに不安のある者の入居施設の運営	

第3項 生涯安心の暮らしづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業
33	37	地域福祉課	高齢者福祉サービスの充実	認知症や知的障害等により、契約行為や必要な福祉サービス利用に関する判断が難しい方の権利を擁護するため、成年後見制度の利用支援を行う。	【継続】
34	37		障害者生活支援センター	市内で生活する障害者の方が自立した生活ができるよう支援する。センターは赤羽根福祉センター内に事務所を設置し、運営を事業所(さわらび会)に委託する。業務内容は、生活・就労支援、福祉サービスのコーディネイト、障害福祉サービス体験、各種教室、サロン事業の開催など	【継続】
35	37		レスパイトサービス事業	障害児の介護負担の軽減と障害を持つ本人の社会性の向上、生活習慣を身につけることを目的としてサービスを行なう。長期休暇(夏・冬・春休み)、赤羽根福祉センターにて開催、年間50日 定員5名。宿泊レスパイトを行なう。毎月1回程度、定員2名まで。	【継続】
36	38	子育て支援課	母子父子家庭相談事業	母子自立支援員1名を市役所子育て支援課に配置し、日常生活、児童の養育、母の就業等についての相談に対応する。	【継続】
37	38		母子自立支援事業	母子父子家庭の自立を促進するため、就職に必要な知識、技能を修得しようとする母に対して自立支援給付金、高等技能訓練促進費を支給する。	
38	38		母子家庭等日常生活支援	母子家庭等の日常生活を支援するため家庭生活支援員(ヘルパー)を派遣する。(支援内容:家事、育児)	

第4項 働きやすい場づくり

■推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業
1	40	商工観光課	事業所に対する男女共同参画の啓発	事業所へ法制度紹介及び女性の労働条件の向上に向けたパンフレット等を配布し、情報提供を行う。	【継続】
2	40		企業への意識啓発	企業や商工会へ講師を派遣して、男女共同参画についての講話を実施する。	
3	43	生涯学習課	児童クラブ(学童保育)	小学校の放課後の児童の安全な居場所づくりを目的として、低学年児童(1～3年生)を対象に児童クラブを開設し、指導員による遊びの指導や生活の場の提供を行う。 (平日:放課後～午後6時、隔週土曜日・夏休み等:午前8時～午後6時)	【継続】
4	43		放課後子ども教室	小学校の放課後に帰宅しても保護者がいない市内小学校在学のすべての児童を対象に開設し、指導員による遊びの指導や生活の場の提供を行う。(平日:放課後～午後6時、隔週土曜日・夏休み等:午前8時～午後6時)	
5	43	子育て支援課	児童館運営事業	児童健全育成の拠点施設として、児童センターで児童厚生員による遊びの指導、親子関係へのアドバイス活動等を実施する。また、親子同士の交流の場として有効活用を図る。	【継続】
6	43		ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を受けたい人と育児の援助ができる人が会員となって、有償ボランティアにより子どもの預かりや保育園の送迎等一時的な育児支援を実施する。(料金:平日昼間500円/子ども1人1時間)	
7	43		通常保育事業	田原市に住所を有し保護者の就労や疾病等により保育に欠ける1歳6月以上の児童を、保護者の委託を受けて保育する。 ・平常保育(月～金曜日 8:30～16:30)・自由保育(土曜日 8:30～15:30)・早朝保育(7:30～8:30)	

第4項 働きやすい場づくり

■推進施策の成果指標

プラン頁	課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業	
8	43	子育て支援課	特別保育事業	<p>○長時間保育(第一、漆田、赤羽根、福江、伊良湖岬、北部) 16:30～19:00 (北部のみ16:30～18:00) 利用料 16:30～19:00 → 2,000円/月、16:30～18:00→1,000円/月</p> <p>○乳児保育(第一、漆田、赤羽根、福江、伊良湖岬) 生後10月～1歳6月未満</p> <p>○一時保育(南部、高松、清田) 月14日以内(利用料 3歳未満1,500円/日、3歳以上1,000円/日)※1歳6月以上の児童</p>	H26～漆田保育園民営化により変更事項あり(協議中)
9	43		地域子育て支援事業	<p>地域の乳幼児を持つ親子を対象として、育児不安等の育児相談、親子の関わりの援助、子育てのアドバイス、仲間作り等の育児(子育て)支援を目的として事業を実施する。(中部保育園内ひまわりルーム・伊良湖岬保育園内なのはなルーム) 出張子育てひろば(赤羽根福祉センター、泉市民館で週1回開設)</p>	(継続)
10	44	農業委員会事務局	家族経営協定の促進	<p>農家における休日や給与、仕事の役割分担と責任を明確にした家族経営協定の締結を促進する。</p>	【継続】
11	46	農政課	新規就農者・担い手育成の支援	<p>新規就農者や農林水産業の担い手の育成を支援する。</p>	<p>【★拡充】 ○「チャレンジ農業セミナー」を開催。</p> <p>【★新規】 ○新・農業人フェアに出展し、就農相談を実施する。</p>
12	46	農政課	農林水産業女性チャレンジ支援	<p>女性が農林水産分野にチャレンジできるよう、相談や支援、情報提供を行う。</p>	<p>【継続】 ○「地元農産物を活用した加工品・料理コンテスト」を実施する。</p>
13	46	市民協働課	起業、NPO、ボランティア等発足支援事業	<p>女性が市民活動にチャレンジできるよう、相談や支援、情報提供を行う。</p>	【継続】

推進体制

■推進施策の成果指標

プラン頁	課名	プラン事業名	事業内容	H26年度実施予定事業
1	48	人事課 市職員の男女共同参画に関する研修	市職員向けの男女共同参画に関する研修を実施し、職員が各事業で男女共同参画の視点に立った事業実施を行うことを目指す。研修参加機会を男女の性差に関わらず提供し、女性リーダー養成研修等への参加を積極的に推進する。	【継続】 ○女性職員を女性リーダーのためのマネジメント研修へ派遣する。 【★新規】 ○市職員向けの男女共同参画研修会を実施する(予定)。
2		市民協働課 男女共同参画を推進する行政の会議の設置	プラン事業を総合的、効果的に推進するために、事業担当係長による田原市男女共同参画推進プランワーキングを設置し、各担当課のプランの進捗状況を把握する。	【継続】 ○庁内ワーキング会議を開催し、各事業の担当課の取組状況を把握するとともに、全庁的な男女共同参画施策を推進する。
3	48 49	市民協働課 市民で構成する組織の設置	市民・団体・企業等からなる田原市男女共同参画推進懇話会を設置し、プランの進捗状況を把握すると共に、幅広い意見を徴収し、男女共同参画の推進に関し、調査審議する。	【継続】 ○懇話会を開催し、各主体の取組状況を報告し、市民への啓発に取り組む。
4		市民協働課 男女共同参画に関する調査体制の整備	男女共同参画に関する各種情報を収集するとともに、市民意識調査を実施する。	【変更】 ○市民アンケート調査はH27年度実施予定。(H28年度のプラン改訂のタイミングで実施)

「地域活動における男女共同参画」に関する意見交換

講師紹介＜梅岡愛子さん＞

- 現 豊橋市自治連合会常任理事、二川校区自治会長、大岩町中町自治会会長、主任児童委員、二川宿本陣まつり開催実行委員会会長
- 大岩町中町自治会で副会長を7年間務めた後、自治会長となる。これまで参加した地域活動は、子ども会、PTA婦人部会、社会体育委員会と多岐に渡る。
- 「歴史ある二川のまちに訪れる人たちに“また来たい”と感じてもらえるような地域にしたい」という思いをもって、いきいきと活動されている。

MEMO

1 講話

2 田原市の現状

3 意見交換

- 女性の長所を生かす参加のあり方
- 実質的な女性参加促進法
- 女性参加を促すための改善・工夫のアイデア
- 男性役員の負担解消、男女双方にとってプラスとなる女性参加のあり方
- その他

田原市の地域活動の概要と現状

田原市地域コミュニティ活性化研究会

報告書（抜粋）

—女性参加の拡大—

1 市内における女性参加の現状・課題

(1) 女性の参加状況

【分析資料】 ○自治会アンケート調査 (H23.7)
○市関係課保有データ ○活性化研究会委員コメント

① 自治会活動への参加状況

ア 自治会役員の女性割合 *女性の自治会長は皆無、組長、評議員・区議員への就任率も1割未満。

- ◇自治会長・代理等 …0% (106人中0人)
- ◇瀬古長・組長等 …8.3% (797人中66人)
- ◇評議員・区議員 …3.8% (400人中15人)

イ 女性専門の役職 *役員登用は少なく、自主防災会等の役が多い。

- ◇女性専門の役職がある自治会 …30自治会
- ◇女性専門の役職例 …女性代議員 (1)、自治会女性部 (7)、女性防災リーダー (1) など
- ◇選任方法 …役員からの依頼 (17)、各瀬古・組から (11)、役員の奥さんから (1)

ウ 主な行事への女性参加割合 *親睦的イベントへの参加割合が多い。

- ◇自治会総会 …22.6% (8,321人中1,844人)
- ◇清掃活動 …40.6% (10,693人中4,338人)
- ◇敬老会 …66.6% (3,780人中2,516人)
- ◇防災訓練 …39.5% (10,441人中4,119人)
- ◇スポーツ行事 …40.0% (3,811人中1,524人)
- ◇盆踊り …48.6% (10,441人中4,119人)



② 女性団体の活動状況

*婦人会が解散等で大幅に数を減らす一方で、子育ての会や親睦目的の会など、日ごろのコミュニケーション形成を目的とする会が増加してきている。

- ア 女性クラブ (婦人会)** *地域における成人女性の修養・趣味の活動や社会活動 / 36団体
- イ 子育ての会 (サークル)** *子育て世代による親睦、勉強会などの活動
- ウ 祭りの会** *女性だけの祭りの会 (めなぎ連、六華連、萱女組等)
- エ 文化・スポーツサークル** *手芸、お花、健康づくり、ミニバレー、ソフトバレー 等
- オ 親睦・楽しみの会** *コミュニケーション形成や地域行事協力の会 (片浜女性サロン、野田レディース)

■自治会内に女性団体がありますか？

「ある」…54自治会 「ない」…41自治会

※無回答12自治会

※H23 自治会アンケート調査

③ 校区協議会への参加状況

❖女性の校区会長は皆無で、明確に女性が委員となっている協議会がいくつかある。多くは、女性団体の代表や民生委員・更生保護女性会など行政委員としての委員参加となっている。

校区名	委員名称	人数
六連コミュニティ協議会	女性コミ委員	12
大草コミュニティ協議会	女性部	17
童浦校区コミュニティ協議会	地区女性クラブ	10
野田校区コミュニティ協議会	レディースクラブ	2
赤羽根校区コミュニティ協議会	各区女性代表	3
若戸校区コミュニティ協議会	各区女性代表	9
和地校区コミュニティ協議会	女性部地区代表	3
伊良湖校区コミュニティ協議会	女性部代表	2

※【参考】H24 各校区コミ総会資料

④ 行政参加の状況

❖民生児童委員や人権擁護委員などは、女性の比率が高いものの、廃棄物減量等推進員など、自治会長が兼務するような委員への女性参加は少ない。

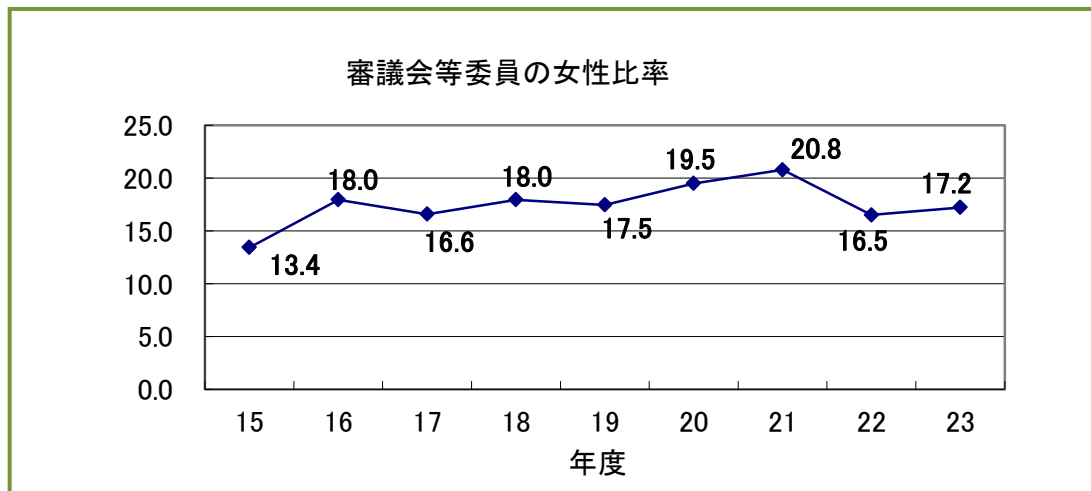
ア 行政委員等 ※数字は女性比率（H24）

- ◇民生児童委員 …41.2%（114人中47人）
- ◇保護司 …2.7%（27人中1人）
- ◇人権擁護委員 …60%（10人中6人）
- ◇青少年健全育成推進員 …5%（20人中1人）
- ◇教育委員会委員 …50%（4人中2人）
- ◇廃棄物減量等推進員 …0.2%（116人中2人）
- ◇田原市男女共同参画推進懇話会 …50.0%（20人中10人）

イ その他（行政活動への参加）

- ◇女性対象防災講習会参加人数 …142人（H22）
- ◇子育て安心見守り隊 …36人（H24/女性ボランティアによる子育て訪問支援）
- ◇広報サポーター …5人（H24/5人中5人/広報活動への公募による市民参加）
- ◇田原市女性防火クラブ …15人（H24 発足/安全な家庭・まちづくりを目的）

■田原市の審議会等委員の女性比率推移



(2) 女性参加の課題・意識

① 女性参加の課題

ア 女性の自治会役員が少ない

■女性が就任できない役職がありますか？

「ない」…81自治会 「ある」…15自治会 ※無回答10自治会

■女性が就任できない役職名

会長、会長代理、区議員、組長、全役員 等

■女性の役員就任の障害は？

※無回答33自治会

「前例がない」…60自治会

「夜間会議などに参加しにくい」…13自治会

「業務内容が男性に適している」…8自治会

「その他」…作業に肉体労働がある、男組織である、やるといふ女性がない、世帯主が条件である

■評議員・区議員の条件は？

※無回答5自治会

「世帯主に限定」…21自治会

「世帯主に限らない」…53自治会

「その他」…総代経験者

※H23 自治会アンケート

イ 女性が意見を言える場、機会が少ない

ウ 女性が参加・活躍する場が少ない

エ 地域の女性の顔が見えない

■全国の自治会長の女性割合 …4.3% (H23年度/H22年度は4.1%)

・総自治会長数：231,983人、うち女性10,033人

・女性割合の高い地域：大阪府 …11.9% (4,052人中481人)

高知県 …11.8% (3,410人中404人)

東京都 …9.8% (8,005人中782人)

・女性割合の低い地域：群馬県 …0.7% (2,449人中18人)

山形県 …0.7% (4,153人中27人)

長野県 …0.9% (3,931人中36人)

※愛知県 …4.0% (5,228人中207人)

※内閣府データ

② 女性参加不足の影響

ア 女性の意見が地域活動に反映されない

*男性視点の自治会運営から脱却できない。女性の協力が得られない。

イ 女性のリーダーが育たない

*地域の女性をとりまとめられない。男性リーダーに負担が集中する。

ウ 行政委員等に推薦できる人材が育たない

*任せられる人・受けてもらえる人が育たない。人選できない。

エ 女性にとって「住みよい地域」と思われない

*産み育ての環境と認められない。地域へ愛着がわかず、人口流出や出生率低下の遠因となる。

③ 女性の自治会・団体活動への参加意識

■自治会・町内会活動への参加について（女性回答）

「参加している」 …31.8%

「今後参加したい」 …12.1%

「参加していない・参加したいと思わない」 …41.3%

■女性団体への活動について（女性回答）

「参加している」 …5.6%

「今後参加したい」 …10.0%

「参加していない・参加したいと思わない」 …56.4%

※H23.10 田原市男女共同参画推進に関する市民アンケート調査

参加していない・参加しようと思わない要因

◇社会慣行・通念

- ・男性側、女性側ともに抵抗感がある。
- ・女性が役員に推薦される事例がない

◇家事・育児・仕事の負担

- ・時間的・肉体的・精神的・経済的に余裕がない。
- ・参加できる時間帯に行事や会議が開催されない。

◇家族の理解・支援不足

- ・活動参加に反対される場合がある。

◇女性自身の意識

- ・責任を回避したい意識、決断を依存したい意識がある。
- ・男性に任せておけばいいという意識がある。
- ・組織活動の経験が少なく、自信が持てない。
- ・自分に合わない、楽しくないと決めつけている。
- ・家庭から出ることによる不安があるなど、自分の生活圏から出られない。

◇男性主体の組織運営

- ・雰囲気や発言がしづらい。女性視点の意見が軽視される。



(3) 女性参加の必要性・効果

① 社会環境・ニーズの変化

ア 男女共同参画社会の実現

- *男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野・活動において参画する機会を確保されることが求められる。「田原市男女共同参画推進プラン」で、地域づくりへの女性参画促進を目指している。
- *まちぐるみ（地域の男女全員）で地域活性化を図ることで、より暮らしやすい地域社会をつくる必要がある。（特に新たな取り組みを必要とする分野）

イ 地域防災・防犯の推進

- *日ごろから、性別や年代を問わず、全員の「助け合い」意識の醸成が、防災対策には必要となる。
- *男性では立ち入れない女性の領域でも、女性同士であれば目が行き届く。
- *大災害時には、避難所運営や物資配布等で、女性視点の配慮が必要になる。
- *普段から顔の見える状態が、いざというとき役立つ。

ウ 高齢化への対応

- *地域における見守り活動、介護等の福祉活動に、女性の経験や力は欠かせない。

エ 少子化（晩婚・未婚）への対応

- *子育て世代にとって住みよい、安心して産み育てできる地域づくりが求められる。
- *地域活動やイベントが、出会い・交流範囲の拡大につながる。

② 女性参加の効果

ア 女性の視点による地域の活性化

- *地域課題に関して、**女性のニーズや考え方**が明確になり、協力を得やすくなる。
- ***女性の情報網**で共有される豊富な情報が役立つ。
- ***男性では気がつかないことへも気が利く。**

イ 明るい雰囲気づくり

- *女性ならではの**活発で和やかな雰囲気**が、地域活動を活性化する。
- *行事等に、女性と一緒に子どもたちが参加しやすくなる。

ウ 地元意識の向上

- *女性が地域活動に主体的に参加することで、「**自分の地域**」という意識が芽生え、**愛着がわく。**

エ リーダーの育成

- *さまざまな活動や人間関係を通じて、**自然と女性リーダーが育つ。**

オ 男女の相互理解促進

- *普段からのコミュニケーションで、活動内容や決定事項に関して誤解が生じない。

③ 女性参加の促進事例

ア 役員会とは別にまちづくりの会を発足

- 五個荘北町屋町自治会（滋賀県東近江市） 自治会役員に女性を選ぶには、規約改正に時間がかかるなどの問題があったため、地域課題等の意見を言える場として、平成19年に「まちづくり委員会」という別組織を立ち上げた。メンバー21人中10人が女性。遊具の整備や通学路の改修など、女性でないと気付かない意見が自治会に届くようになった。市のイベント「街並み灯り路」に参加し、250メートルにわたって行灯を設置するなど、女性のアイデアがまちづくりに生かされている。

イ 自治会長へ10の提言

- 丹波地域ビジョン委員会（京都府丹波地域） 男女が共同参画する「新しい自治会」へ変身する方策として、「自治会長への10の提言」をまとめ、少しでも実践してもらえるよう周知している。

自治会長への10の提言（H20.3 丹波地域ビジョン委員会）

《言ってはいけない 一言》

イ だから女はあかんのや

ロ 女のくせに何ができるんや

ハ そないに言うのやったら、あなたがやってくれますか

ニ お茶の準備は女の人にまかすといたらよろしいわな

ホ 後片付けは、女の人にまかすとかんかい

《言ってほしい 一言》

へ おかげで明るくなった

ト 発想がすばらしい

チ 会がなごやかになりました

リ 男性には気づかないことです

ヌ これからもどしどし意見を言ってください

ウ 婦人会に代わる新たな形の女性団体

- 片浜女性サロン（片浜自治会） 地域の女性が日ごろからのつながりを作るために集まった会。
- 野田レディースクラブ（野田校区） 女性が楽しみながら地域活動に参加している。

エ 市民館の活用

- 味探検グループ（神戸校区） 調理場を活動拠点に、郷土料理の創作に取り組んでいる。「キャベコロ」が飲食店のメニューに加わるなど、地域の魅力発信につながっている。
- おしゃべりサロン（福江校区） 市民館に親子スペースを設け、子育て世代に市民館（地域活動）を身近に感じてもらおう工夫をしている。

④ 女性参加の促進要因

- ア 従来からの観念や慣例にとらわれていない
 - *決まった型にはめようとするのではなく、現状を受け入れて最善の方法を探っている。
- イ 男性に理解がある
 - *女性の視点や異なる意見を尊重する柔軟性がある。
 - *役割ごとに男女を分割せず、同じ役割を男女が共同で担っている。
- ウ 女性が楽しんでいる
 - *趣味や仲間づくりの延長が地域づくりにつながっている。
 - *女性の得意分野を生かせる役割が与えられている。
- エ 無理のない参加形態
 - *住民の生活スタイルに合った会議・イベント運営がなされている。
 - *自然に女性が集まる実態を伴ったがなされている。

2 目標・改善方策

(1) 女性参加の拡大の目標

❖無理なく女性が参加でき、普段からコミュニケーションが図られる自治会活動を行い、明るく住みよい地域づくりを目指す。

(2) 自治会において取り組む改善方策

- ① 自治会運営等において女性の意見が反映される仕組みをつくる！
 - ◆女性専門の役職を設置する。
 - ◆気軽に意見交換できるサロンやテーマを絞った会議等を開催する。
 - ◆自治会内アンケートや活性化のアイデア募集などを行う。
 - ◆女性のネットワークを利用し、情報伝達や情報集約など、可能なところから女性参加を促す。
- ② 女性の参加が促されるような組織やイベントの運営を考える！
 - ◆会議やイベントの時間帯を女性のライフスタイルに合わせる。
 - ◆女性の特長を活かせるような役割分担をする。
 - ◆参加を求める女性の年齢層、技術や知識などを明確にして呼びかける。
 - ◆誰にでも分かりやすい運営マニュアルを作成し引き継ぐ。
- ③ 女性や転入者が参加しやすいきっかけづくりを行う！
 - ◆男性目線の慣例や形骸化した取り組みを見直し、住民の理解を得る。
 - ◆参加しやすい、意見の言いやすいようなやわらかい雰囲気づくりに努める。
 - ◆女性が地域活動へ参加することに家庭が協力する。

(3) 女性の活動支援

- ① 女性団体の育成・支援を行う！
 - ◆活動費や活動場所の支援を行う。
 - ◆小さなグループ、趣味的な集まりも地域づくりの活動と認めて温かく支援する。
 - ◆子育て中の女性が親子で自然と市民館等集まる工夫をして、地域に愛着を持ってもらう。

② 女性リーダーを発掘・育成する！

- ◆小さなグループの取り組みを支援し、人材育成の場とする。

(4) 市・連合会・地域社会全体で取り組む改善方策

① 男女共同参画社会の実現を目指す！

- ◆各種委員等への女性登用を促進する。
- ◆防災や防犯、環境保全、観光など男性的な分野への女性参加を促す。

② 女性参加が促されるような事例やノウハウを提供する！

- ◆広報紙等で女性の活躍等を紹介する。
- ◆促進事例の良い部分を模倣できるような情報提供を行う。

③ 女性の意見が集約できる取り組みを行う！

- ◆ライフステージに応じた女性の懇談会等を開催し、地域づくりの意見交換を行う。